



### 第3回防災文化交流会を実施しました（2023/11/26）

キーワード：池袋／雑司ヶ谷／防災まちづくり／防災アプリ  
場所：東京都豊島区池袋周辺および雑司ヶ谷

地域防災推進機構では、防災関係者との交流事業の一環として地域の人たちとの交流を図る「防災文化交流会」を実施しています。今回3回目となる交流会は11月26日に豊島区で実施されました。

当日の朝、池袋から水戸岡鋭治氏デザインのイケバスに乗り、造幣局跡地が防災公園として整備されたイケ・サンパークを訪れ、おしゃれなカフェと併設されている災害時を意識したトイレ、災害時に使える水道や電源を活用したおしゃれな屋台など、大都会池袋にある防災公園のあり方を観察しました。

その後、さくらトラム（都電荒川線）に乗り、雑司ヶ谷公園へ。周辺町内会が主催する防災訓練が行われていましたので、参加しました。防災施設を見学しながらのクイズラリーや、起震車で阪神淡路大震災の揺れ体験など、興味深い時間を過ごしました。また、関東大震災の記録石板画の解説を、防災まちづくりの専門家吉川仁氏から受けたり、関東大震災の実体験に基づく防災教育双六を体験したりして、災害の恐ろしさを改めて感じました。最後には、町内会の方々が、炊き出し訓練用に作ったカレーを味わい、午前のオプション企画が締めくくられました。

午後の部では最初に、40年間雑司ヶ谷地域の防災まちづくりに携わってきたコンサルタントの小野加瑞輝氏にこれまでの経験をレクチャーしていただきました。その上で、防災公園としての雑司ヶ谷公園の計画づくりに携わる住民が主体となって形成されたNPO法人雑司ヶ谷ひろばクラブの理事会メンバーの活動を紹介いただいた上で、意見交換を行い、NPOとしてメンバーを集めるための工夫なども含めた議論が行われました。その後、災害時に救援活動の拠点の役割が期待されている公園内の丘の上テラス内の、太陽光の反射を用いた照明設備、防災用のトイレ、備蓄倉庫などを案内いただきました。レクチャーや意見交換が盛り上がったあと、薬袋から雑司ヶ谷のまちづくりについて紹介がありました。寒い一日だったこともあり、予定していた雑司ヶ谷の街歩きは割愛されました。

最後は、防災アプリについての意見交換会を行いました。若手会員の時田さんからインターネットで調べた防災教育アプリの紹介がありました。考える経験があれば、小さい子供が大人になり、居住地が変わってもそれを活かしていけるので、そういうことに役立てるアプリを開発したいなどという意見も出てきました。

#### （参加者からの意見）

「当日行われていた防災訓練にも参加させていただき、体験学習させていただいた上に、スタンプラリーの景品（美味しい防災食）まで頂戴し、恐縮しました。地元の皆様の地域への愛着が、ひしひしと伝わってくるように感じられた交流会でした。」

「ひろばクラブの方との語らいの時間から見てきた今後のコラボレーションの可能性や両NPOの課題点（金銭面、会員の増やし方、イベント時の年齢層の混同の難しさ等）の共有は、今後の糧になると思いました。」



特定非営利活動法人 地域防災推進機構  
Non-profit Organization for Action-oriented Disaster Risk Reduction



雑司が谷防災訓練では、炊き出しを想定して  
作られたキッチンでカレーの調理



関東大震災の経験を再現した防災教育双六体験



雑司が谷公園の管理を委託されている NPO  
法人雑司が谷ひろばくらぶ理事との懇談会



周囲の状況を見渡すことを意図して設けられた  
屋上テラスから



建物地下部分にある消防用の取水口



記念撮影

文責：薬袋奈美子（副理事長）